

岩下議員（民主県政会）

平成 29 年 2 月 21 日

環境県民局長答弁実録

（環境県民局）

（教育委員会）

（問）私立高校入試制度の安定運用について

高校受験生の欲張りなライフスタイルの実現に向けて、環境県民局、教育委員会、広島県公立中学校長会と私立高校の4者が、私立高校入試制度の運用上の課題などを整理解決していく場を設定し、運営していく必要があると考えるが、知事の見解を伺う。

（答）

府中町立中学校における自死案件の発生を踏まえ、今後、二度と同様の事案を発生させないためには、公立中学校や私立高等学校をはじめとする関係者が、連携して再発防止策に取り組んでいく必要があると認識いたしております。

広島県私立中学高等学校協会におきましては、現在、第三者調査委員会の答申で指摘のあった、いわゆる専願入試制度について、運用上の課題等を整理するとともに入試要領の記載内容や中学校への説明手法等について改善策の検討を進めているところでございます。

また、県といたしましては、4月を目途に、広島県、県教育委員会、広島県私立中学高等学校協会及び広島県公立中学校長会による協議の場の設置に向けて調整しており、送り出す中学校側と受け入れる高等学校側それぞれの現場実態や課題、ニーズ等について、関係者が一堂に会して議論を深めることで、実効性のある対応策の実施につながるよう取り組んでまいりたいと考えております。